

日清紡

(コード番号: 3105 東・大・名・福・札)

(URL <http://www.nisshinbo.co.jp>)

代表者 役職名 取締役社長 指田 禎一

問合せ先責任者 役職名 取締役

経理本部長 鷓澤 静 (TEL: (03)5695-8846)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 無

認識の方法との相違の有無

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満四捨五入)

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	56,479	-	2,428	-	2,614	-	1,569	-
15年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考)15年3月期	231,194		5,989		5,101		777	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第1四半期	7 26	-
15年3月期第1四半期	-	-
(参考)15年3月期	3 18	-

(注) 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載しておりません。また、前年同四半期との比較についても記載しておりません。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	318,336	194,367	61.1	876 38
15年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)15年3月期	312,909	186,028	59.5	860 52

(注) 前年同四半期については、四半期決算を行っていないため記載しておりません。また、前年同四半期との比較についても記載しておりません。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成15年4月1日~平成15年6月30日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	35,574	-	1,553	-	1,787	-	1,373	-
15年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	252,583	175,125
15年3月期第1四半期	-	-

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期の連結業績につきましては、繊維事業の売上低迷から売上高は56,479百万円と計画を下回っていますが、営業利益は2,428百万円、経常利益は2,614百万円と順調に推移しました。当期純利益は投資有価証券の売却益等により1,569百万円となりました。

第1四半期における事業のセグメント別業績は下記の通りであります。

（繊維事業）

国内は繊維需要の低迷に加え、欧米向輸出の不振から計画を下回っています。海外は設備の増強に伴う生産増によるコストダウン並びに販売数量増から計画を上回っているものの、全体では計画を下回っています。

（ブレ - キ製品事業）

ブレ - キ製品は国内の排ガス規制強化前のトラック特需効果、海外は好調な現地自動車生産により概ね計画通り推移しています。ABSはシステム・センサ - の受注が順調に推移しており計画を上回っています。

全体では順調に推移しています。

（紙製品事業）

家庭紙は市場価格が若干弱含みの中、新商品の拡販もあり概ね計画通り推移しています。洋紙は市況が低迷しているものの、印刷用紙が好調であったことから概ね計画通り推移しています。全体では順調に推移しています。

（化成品事業）

プラスチック成型加工品は原料価格の高騰の影響を受けているものの、エアコン各社の操業本格化により、計画通りとなりました。エラストマ - ・カ - ボン他も好調に推移したことにより、全体では計画を上回っています。

（不動産事業）

順調に推移しています。

（その他事業）

通信機器は依然低迷の域を脱していません。メカトロニクス製品は専用機売上増並びにOEM製品の採算向上により計画を上回って推移しています。PDPフィルタ - は市場の拡大、新設備効果による生産性向上から概ね順調に推移しています。

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期における総資産は、前期末と比較し5,427百万円増加しました。増減の主なものは、現金及び預金の減少3,940百万円、受取手形及び売掛金の減少1,242百万円、投資有価証券の増加12,088百万円であります。

株主資本は、その他有価証券評価差額金の増加7,229百万円他により8,339百万円増加し、株主資本比率は1.6%上昇しました。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	114,000	4,200	1,400	6 48
通期	233,000	8,000	3,600	16 66

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる結果となる可能性があります。

〔業績予想に関する定性的情報等〕

当社はこれまでも適正かつ必要な従業員構成を実現することを目的として、セカンドライフ支援制度(早期退職優遇制度)を設け、中高年社員の転身支援をおこなってきましたが、当期は本支援制度利用による応募者が予想を大幅上回る見込みとなりました。これに伴い特別退職金として約26億円の特別損失が発生します。また、出資先であるニュー・ハミルトンが解散・清算されることに伴い貸倒引当金繰入として約2億円の特別損失を計上する予定です。投資有価証券の売却等により16億円程度の特別利益を計上する予定であります。当期純利益が期初予想を下回る見込みとなるため、連結・単体共中間業績予想を修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、まだ不確実な要素が多いため、現段階では見直ししておりません。

(参考2)平成16年3月期の個別業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	予想売上高 百万円	予想経常利益 百万円	予想当期純利益 百万円	1株当たり年間予想配当金		
				中間 円 銭	期末 円 銭	円 銭
中間期	72,000	2,800	800	3 50	—	—
通期	150,000	5,000	2,100	—	3 50	7 00

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる結果となる可能性があります。

四半期連結損益計算書

日清紡

(単位：百万円)

	当第1四半期 自15.4.1 至15.6.30	前 期 自14.4.1 至15.3.31
売上高	56,479	231,194
売上原価	47,574	199,273
販売費・一般管理費	6,477	25,932
営業利益	2,428	5,989
営業外収益		
受取利息・配当金	690	1,956
連結調整勘定償却	8	34
雑収入	58	429
計	756	2,419
営業外費用		
支払利息	324	1,464
持分法による投資損失	39	310
雑損失	207	1,533
計	570	3,307
経常利益	2,614	5,101
特別利益		
固定資産売却益	50	82
投資有価証券売却益	644	401
その他	-	1,011
計	694	1,494
特別損失		
固定資産売却廃棄損	108	503
投資有価証券売却損	4	850
投資有価証券評価損	-	472
その他	161	1,216
計	273	3,041
税金等調整前第1四半期(当期)純利益	3,035	3,554
法人税、住民税及び事業税	885	4,529
法人税等調整額	664	1,558
少数株主損失	83	194
第1四半期(当期)純利益	1,569	777

四半期連結貸借対照表

日清紡

(単位：百万円)

	当第1四半期末 15.6.30 現在	前 期 15.3.31 現在
資 産 の 部	318,336	312,909
<u>流 動 資 産</u>	<u>132,360</u>	<u>137,576</u>
現金及び預金	30,856	34,796
受取手形及び売掛金	59,689	60,931
棚卸資産	36,762	35,795
その他	5,053	6,054
<u>固 定 資 産</u>	<u>185,976</u>	<u>175,333</u>
<u>有形固定資産</u>	<u>103,052</u>	<u>104,550</u>
建物及び構築物	44,473	44,960
機械装置及び運搬具	38,776	39,537
土地	16,782	16,759
その他	3,021	3,294
<u>無形固定資産</u>	<u>741</u>	<u>759</u>
<u>投資その他の資産</u>	<u>82,183</u>	<u>70,024</u>
投資有価証券	78,016	65,928
その他	4,167	4,096
資 産 合 計	318,336	312,909

	当第1四半期末 15.6.30 現在	前 期 15.3.31 現在
負 債 の 部	118,875	121,713
<u>流 動 負 債</u>	<u>71,374</u>	<u>78,905</u>
支払手形及び買掛金	21,114	21,212
短期借入金	37,548	40,852
その他	12,712	16,841
<u>固 定 負 債</u>	<u>47,501</u>	<u>42,808</u>
長期借入金	7,936	7,574
繰延税金負債	8,335	3,553
退職給付引当金	22,477	22,727
その他	8,753	8,954
少数株主持分	5,094	5,168
資 本 の 部	194,367	186,028
資 本 金	27,588	27,588
資本剰余金	20,401	20,401
利益剰余金	132,254	131,532
その他有価証券評価差額金	16,857	9,628
為替換算調整勘定	2,526	2,922
自己株式	207	199
負債、少数株主持分及び資本合計	318,336	312,909

セグメント情報

日清紡

1. 事業の種類別セグメント情報

(1) 当第1四半期(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

(単位:百万円)

	繊維事業	プレ-キ製品事業	紙製品事業	化成品事業	不動産事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	16,792	13,572	6,943	8,176	1,240	9,756	56,479	-	56,479
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	0	29	249	77	238	593	(593)	-
計	16,792	13,572	6,972	8,425	1,317	9,994	57,072	(593)	56,479
営業費用	16,636	12,115	6,389	8,185	662	10,404	54,391	(340)	54,051
営業利益又は損失()	156	1,457	583	240	655	410	2,681	(253)	2,428

(2) 前期(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位:百万円)

	繊維事業	プレ-キ製品事業	紙製品事業	化成品事業	不動産事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	74,034	56,353	27,024	30,778	4,785	38,220	231,194	-	231,194
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	-	14	887	304	1,386	2,591	(2,591)	-
計	74,034	56,353	27,038	31,665	5,089	39,606	233,785	(2,591)	231,194
営業費用	74,721	51,274	25,427	31,514	2,520	42,370	227,826	(2,621)	225,205
営業利益又は損失()	687	5,079	1,611	151	2,569	2,764	5,959	30	5,989

(注)事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

1. 事業区分の方法 製品の種類別区分によっている。

2. 各区分に属する主要な製品の名称

繊維事業 綿糸、綿織物、綿ニット製品、化合繊維、化合繊維物、化合繊維ニット製品、スパンデックス製品など

プレ-キ製品事業 摩擦材、プレ-キアセンブリ、アンロックプレ-キシステムなど

紙製品事業 家庭紙、洋紙など

化成品事業 ウルタンフォーム、プラスチック成型加工など

不動産事業 ビルの賃貸、ショッピングセンターの賃貸など

その他事業 空調機製品、電子機器など

3. 営業費用のうち、当第1四半期において、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は260百万円である。なお、前期は消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額はない。

4. 営業費用の配賦方法の変更

当社グループの各事業の状況をより適切に表わすため、従来事業区分に配賦していた基礎的研究に係る費用を、当期より配賦不能営業費用として消去又は全社の項目に含めて表示することとした。

なお、前期の事業の種類別セグメント情報を、変更後の営業費用の配賦方法により示すと次のとおりであり、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は810百万円である。

前期(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位:百万円)

	繊維事業	プレ-キ製品事業	紙製品事業	化成品事業	不動産事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	74,034	56,353	27,024	30,778	4,785	38,220	231,194	-	231,194
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	-	14	887	304	1,386	2,591	(2,591)	-
計	74,034	56,353	27,038	31,665	5,089	39,606	233,785	(2,591)	231,194
営業費用	74,721	50,852	25,215	31,417	2,520	42,291	227,016	(1,811)	225,205
営業利益又は損失()	687	5,501	1,823	248	2,569	2,685	6,769	(780)	5,989

2. 所在地別セグメント情報

(1) 当第1四半期(平成15年4月1日～平成15年6月30日) (単位:百万円)

	日 本	その他の地域	計	消去又は全社	連 結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	49,585	6,894	56,479	-	56,479
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	632	957	1,589	(1,589)	-
計	50,217	7,851	58,068	(1,589)	56,479
営 業 費 用	48,313	7,104	55,417	(1,366)	54,051
営業利益又は損失()	1,904	747	2,651	(223)	2,428

(2) 前 期(平成14年4月1日～平成15年3月31日) (単位:百万円)

	日 本	その他の地域	計	消去又は全社	連 結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	208,449	22,745	231,194	-	231,194
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,569	3,116	5,685	(5,685)	-
計	211,018	25,861	236,879	(5,685)	231,194
営 業 費 用	206,827	24,133	230,960	(5,755)	225,205
営業利益又は損失()	4,191	1,728	5,919	70	5,989

1. 営業費用のうち、当第1四半期において、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は260百万円である。

なお、前期は消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額はない。

2. 営業費用の配賦方法の変更

事業の種類別セグメント情報注4.に記載のとおり、当期より基礎的研究に係る費用を配賦不能営業費用として消去又は全社の項目に含めて表示することとした。

なお、前期の所在地別セグメント情報を、変更後の営業費用の配賦方法により示すと次のとおりであり、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は810百万円である。

前 期(平成14年4月1日～平成15年3月31日) (単位:百万円)

	日 本	その他の地域	計	消去又は全社	連 結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	208,449	22,745	231,194	-	231,194
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,569	3,116	5,685	(5,685)	-
計	211,018	25,861	236,879	(5,685)	231,194
営 業 費 用	206,017	24,133	230,150	(4,945)	225,205
営業利益又は損失()	5,001	1,728	6,729	(740)	5,989